

# 『高等学校古典B』（古B304/305）についてのシラバス案

科目 <b>古典B</b>	単位数	4単位
	学科・学年・学級	

## 1 学習の到達目標など

学習の到達目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、もの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。
使用教科書・副教材など	『高等学校古典B』（三省堂）（第2学年では古文編第一部・漢文編第一部を扱います）

## 2 評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。

## 3 学習計画及び評価方法など

### (1) 学習計画など

第 1 学 期											
月	教材	配当時間	学習のねらい	言語活動例	関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法	考查範囲
4	清少納言「枕草子」	2	筆者の美意識やもの見方を読み取るとともに、当時の宮廷生活について理解する。  学習指導要領の指導事項 ア/エ	ア 辞書などを用いて古典の言葉と現代の言葉とを比較し、その変遷などについて分かったことを報告すること。	関心・意欲・態度	内容が踏まえて筆者の考え方や当時の宮廷生活を理解しようとする。	読む能力	筆者の美意識や機知を読み取る。	内容が踏まえて筆者の考え方や当時の宮廷生活を理解しようとしている。	行動の観察	第1学期中間考查
					知識・理解	形のうでで紛らわしい語を文法的に識別する。	形のうでで紛らわしい語を文法的に識別できている。	記述の点検			
					関心・意欲・態度	話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとする。	読む能力	登場人物の考え方を読み取る。	話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとしている。	行動の観察	
	「漱石枕流」	1	比較的短い文章を読んで漢文に親しむとともに、登場人物の考え方や話のおもしろさを味わう。  学習指導要領の指導事項 ア/オ	ア 辞書などを用いて古典の言葉と現代の言葉とを比較し、その変遷などについて分かったことを報告すること。	関心・意欲・態度	話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとする。	読む能力	登場人物の考え方を読み取る。	話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとしている。	行動の観察	
					知識・理解	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。	記述の点検			
					関心・意欲・態度	話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとする。	読む能力	登場人物の考え方を読み取る。	話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとしている。	行動の観察	
	「紀昌貫虱」	1	比較的短い文章を読んで漢文に親しむとともに、登場人物の考え方や話のおもしろさを味わう。  学習指導要領の指導事項 イ	イ 同じ題材を取り上げた文章や同じ時代の文章などを読み比べ、共通点や相違点などについて説明すること。	関心・意欲・態度	話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとする。	読む能力	登場人物の考え方を読み取る。	話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとしている。	行動の観察	
					知識・理解	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。	記述の点検			
					関心・意欲・態度	話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとする。	読む能力	登場人物の考え方を読み取る。	話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとしている。	行動の観察	
	「孟母断機」	1	比較的短い文章を読んで漢文に親しむとともに、登場人物の考え方や話のおもしろさを味わう。  学習指導要領の指導事項 イ/ウ	エ 古典を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果を発表したり文章にまとめたりすること。	関心・意欲・態度	話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとする。	読む能力	登場人物の考え方を読み取る。	話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとしている。	行動の観察	
					知識・理解	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。	記述の点検			
					関心・意欲・態度	話のおもしろさを味わい、登場人物の言動の意図などについて考えようとする。	読む能力	登場人物の言動の意図を読み取る。	話のおもしろさを味わい、登場人物の言動の意図などについて考えようとしている。	行動の観察	
「畏饅頭」	1	比較的短い文章を読んで漢文に親しむとともに、登場人物の言動の意図や話のおもしろさを味わう。  学習指導要領の指導事項 イ/オ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	話のおもしろさを味わい、登場人物の言動の意図などについて考えようとする。	読む能力	登場人物の言動の意図を読み取る。	話のおもしろさを味わい、登場人物の言動の意図などについて考えようとしている。	行動の観察		
				知識・理解	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。	記述の点検				
				関心・意欲・態度	話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとする。	読む能力	登場人物の考え方を読み取る。	話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとしている。	行動の観察		
5	「不顧後患」	1	比較的短い文章を読んで漢文に親しむとともに、登場人物の考え方や話のおもしろさを味わう。  学習指導要領の指導事項 イ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとする。	読む能力	登場人物の考え方を読み取る。	話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとしている。	行動の観察	
					知識・理解	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。	記述の点検			
					関心・意欲・態度	話の展開を読み取り、登場人物の言動の意図や心情について考えようとする。	読む能力	登場人物の心情を理解する。	話の展開を読み取り、登場人物の言動の意図や心情について考えようとしている。	行動の観察	
「王昭君」	1	比較的短い文章を読んで漢文に親しむとともに、登場人物の言動の意図や心情を理解する。  学習指導要領の指導事項 イ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	話の展開を読み取り、登場人物の言動の意図や心情について考えようとする。	読む能力	登場人物の心情を理解する。	話の展開を読み取り、登場人物の言動の意図や心情について考えようとしている。	行動の観察		
				知識・理解	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。	記述の点検				
				関心・意欲・態度	語句や表現に即して物語の展開を読み取ろうとする。	読む能力	文章を通して、登場人物の行動と心情を読み取る。	語句や表現に即して物語の展開を読み取ろうとしている。	行動の観察		
「竹取物語」	1	物語の展開を語句や表現に即して理解するとともに、当時の人々が物語にこめた思いを考える。  学習指導要領の指導事項 ア/ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	語句や表現に即して物語の展開を読み取ろうとする。	読む能力	文章を通して、登場人物の行動と心情を読み取る。	文章を通して、登場人物の行動と心情を読み取っている。	行動の観察		
				知識・理解	基本的な敬語法について理解する。	基本的な敬語法について理解している。	記述の点検				
				関心・意欲・態度	物語の展開を理解し、和歌にこめられた登場人物の心情を読み取ろうとする。	読む能力	文章や和歌を通して、登場人物の行動と心情を読み取る。	物語の展開を理解し、和歌にこめられた登場人物の心情を読み取ろうとしている。	行動の観察		
「伊勢物語」	2	登場人物の心情を状況や行動に即して読み取るとともに、和歌の読解と鑑賞を通して歌物語の特徴を理解する。  学習指導要領の指導事項 イ/ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	物語の展開を理解し、和歌にこめられた登場人物の心情を読み取ろうとする。	読む能力	文章や和歌を通して、登場人物の行動と心情を読み取る。	文章や和歌を通して、登場人物の行動と心情を読み取っている。	行動の観察		
				知識・理解	形のうでで紛らわしい語を文法的に識別する。歌物語の特徴を理解する。	形のうでで紛らわしい語を文法的に識別できている。歌物語の特徴を理解できている。	記述の点検				
				関心・意欲・態度	物語の展開を理解し、和歌にこめられた登場人物の心情を読み取ろうとする。	読む能力	文章や和歌を通して、登場人物の行動と心情を読み取る。	物語の展開を理解し、和歌にこめられた登場人物の心情を読み取ろうとしている。	行動の観察		
6	「大和物語」	1	登場人物の心情を状況や行動に即して読み取るとともに、和歌の読解と鑑賞を通して歌物語の特徴を理解する。	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	物語の展開を理解し、和歌にこめられた登場人物の心情を読み取ろうとする。	読む能力	文章や和歌を通して、登場人物の行動と心情を読み取る。	物語の展開を理解し、和歌にこめられた登場人物の心情を読み取ろうとしている。	行動の観察	第1学期

7		学習指導要領の指導事項 イ/ウ		読む能力 文章や和歌を通して、登場人物の行動と心情を読み取る。	文章や和歌を通して、登場人物の行動と心情を読み取っている。	行動の分析 記述の確認	期 末 考 査	
				知識・理解 形のうでで紛らわしい語を文法的に識別する。 歌物語の特徴を理解する。	形のうでで紛らわしい語を文法的に識別できている。 歌物語の特徴を理解できている。	記述の点検		
	「堤中納言物語」	1	登場人物の心情を状況や行動に即して読み取るとともに、短編物語の展開を読み味わう。	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度 物語の展開を理解し、登場人物の心情を読み取ろうとする。	物語の展開を理解し、登場人物の心情を読み取ろうとしている。		行動の観察
			学習指導要領の指導事項 イ/ウ		読む能力 主人公の行動と心情を読み取るとともに、他の登場人物の言動の意図を理解する。	主人公の行動と心情を読み取るとともに、他の登場人物の言動の意図を理解している。		行動の分析 記述の確認
					知識・理解 形のうでで紛らわしい語を文法的に識別する。	形のうでで紛らわしい語を文法的に識別できている。		記述の点検
	漢詩（近体詩）	3	情景と作者の心情が融合した境地を味わうとともに、漢詩の構成などについて理解する。	エ 古典を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果を発表したり文章にまとめたりすること。	関心・意欲・態度 漢詩に描かれた人物や情景・心情などを表現に即して味わおうとする。	漢詩に描かれた人物や情景・心情などを表現に即して味わおうとしている。		行動の観察
			学習指導要領の指導事項 ア/エ/オ		読む能力 それぞれの漢詩が表現している内容や情感を理解する。	それぞれの漢詩が表現している内容や情感を理解している。		行動の分析 記述の確認
					知識・理解 漢詩の詩形や押韻などについて理解する。	漢詩の詩形や押韻などについて理解している。		記述の点検
	兼好法師「徒然草」	2	筆者の人生観や人間観などを読み取り、その特色を理解するとともに、自分自身の考え方を深め、視野を広げる。	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度 内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し、自身の考え方を深めようとする。	内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し、自身の考え方を深めようとしている。		行動の観察
			学習指導要領の指導事項 ウ/エ		読む能力 筆者の人生観や人間観を読み取る。	筆者の人生観や人間観を読み取っている。		行動の分析 記述の確認
					知識・理解 形のうでで紛らわしい語を文法的に識別する。	形のうでで紛らわしい語を文法的に識別できている。		記述の点検
	鴨長明「方丈記」	2	筆者の無常観や人生観を読み取るとともに、当時の社会状況について理解する。	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度 内容を踏まえて筆者の考え方や当時の社会状況を理解しようとする。	内容を踏まえて筆者の考え方や当時の社会状況を理解しようとしている。		行動の観察
		学習指導要領の指導事項 イ/エ		読む能力 筆者の無常観や人生観を読み取る。	筆者の無常観や人生観を読み取っている。	行動の分析 記述の確認		
				知識・理解 形のうでで紛らわしい語を文法的に識別する。	形のうでで紛らわしい語を文法的に識別できている。	記述の点検		

【課題・提出物など】

- ① 授業で使ったプリントやワークシート
- ② 授業で作成した資料や制作物など
- ③ 相互評価カード
- ④ 授業ノート

【第1学期の評定方法】

- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度などを総合して評価し、10段階に評定します。
- ② 学期全体の評定は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

第 2 学 期

月	教材	配 当 時 間	学習のねらい	言語活動例	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法	考 査 範 囲	
9	「今物語」	1	和歌にまつわる逸話を理解するとともに、登場人物の心情を読み取り、説話の世界を読み味わう。  学習指導要領の指導事項 イ	エ 古典を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果を発表したり文章にまとめたりすること。	関心・意欲・態度	登場人物の心情を理解して、説話の世界を読み味わおうとする。	登場人物の心情を理解して、説話の世界を読み味わおうとしている。	第2学期 中間 考 査	
					読む能力	和歌を鑑賞するとともに、登場人物たちの言動を支える心情を読み取る。	和歌を鑑賞するとともに、登場人物たちの言動を支える心情を読み取っている。		
					知識・理解	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別する。	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。		
	「古今著聞集」	1	登場人物の心情を状況や行動、和歌の読解を通して理解するとともに、説話の世界を読み味わう。  学習指導要領の指導事項 イ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	話の展開を理解し、説話の世界を読み味わおうとする。	話の展開を理解し、説話の世界を読み味わおうとしている。	行動の観察	
					読む能力	話の状況や人物の言動、和歌の読解を通して、登場人物の心情を読み取る。	話の状況や人物の言動、和歌の読解を通して、登場人物の心情を読み取っている。		
					知識・理解	当時の人々の和歌に対する思いを理解する。	当時の人々の和歌に対する思いを理解している。		
	鴨長明「菴心集」	1	登場人物の心情を状況や言動を通して理解するとともに、仏教説話の世界を読み味わう。  学習指導要領の指導事項 イ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	話の展開を理解し、説話の世界を読み味わおうとする。	話の展開を理解し、説話の世界を読み味わおうとしている。	行動の観察	
					読む能力	登場人物の心情を、状況や言動を通して理解する。	登場人物の心情を、状況や言動を通して理解している。		
					知識・理解	仏教説話の特徴を理解する。	仏教説話の特徴を理解している。		
	「古本説話集」	1	話の展開に伴う登場人物の心情の変化を読み取るとともに、靈験譚としての構成や寺名の由来譚としての内容を理解する。  学習指導要領の指導事項 イ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	長めの説話を構成する話の要素や、その構造を理解しようとする。	長めの説話を構成する話の要素や、その構造を理解しようとしている。	行動の観察	
					読む能力	話の展開に伴う登場人物の心情の変化を読み取る。	話の展開に伴う登場人物の心情の変化を読み取っている。		
					知識・理解	仏教説話の特徴を理解する。	仏教説話の特徴を理解している。		
10	司馬遷「史記」	7	話の展開を読み取るとともに、古代中国の歴史が持つおもしろさや登場人物の魅力を読み味わう。  学習指導要領の指導事項 ウ/エ	ア 辞書などを用いて古典の言葉と現代の言葉とを比較し、その変遷などについて分かったことを報告すること。 ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	著名な逸話について興味を持ち、内容を深く知ろうとする。	著名な逸話について興味を持ち、内容を深く知ろうとしている。	行動の観察	
					読む能力	話の展開を理解するとともに、登場人物の心情を読み取る。	話の展開を理解するとともに、登場人物の心情を読み取っている。		
					知識・理解	基本的な句法・語法を理解する。『史記』や司馬遷について理解する。	基本的な句法・語法を理解している。『史記』や司馬遷について理解している。		
	紫式部「源氏物語」	2	登場人物の心情を状況や行動に即して読み取るとともに、『源氏物語』への理解を深め、興味関心を高める。  学習指導要領の指導事項 ウ/エ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	物語の内容を理解するとともに、『源氏物語』への興味関心を高める。	物語の内容を理解するとともに、『源氏物語』についてより深く知ろうとしている。	行動の観察	
					読む能力	登場人物の心情を、それぞれの場面に応じて読み取る。	登場人物の心情を、それぞれの場面に応じて読み取っている。		
					知識・理解	基本的な敬語法について理解する。	基本的な敬語法について理解している。		
	「大鏡」	2	歴史の流れの中で、登場人物の境遇や心情を読み取るとともに、歴史物語の特徴と文学史的意義を理解する。  学習指導要領の指導事項 ウ/オ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	登場人物の境遇を読み取るとともに、歴史物語の特徴を理解する。	登場人物の境遇を読み取るとともに、歴史物語の特徴を理解しようとしている。	行動の観察	
					読む能力	登場人物の人間関係や心情を読み取る。	登場人物の人間関係や心情を読み取っている。		
					知識・理解	基本的な敬語法について理解する。	基本的な敬語法について理解している。		
	11	屈原「漁父辞」	2	文章の構成や展開を理解するとともに、内容を的確に読み取る。  学習指導要領の指導事項 ウ/エ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	文章にこめられた思想や主張を読み取ろうとする。	文章にこめられた思想や主張を読み取ろうとしている。	行動の観察
						読む能力	文章の展開を理解するとともに、筆者の考え方を読み取る。	文章の展開を理解するとともに、筆者の考え方を読み取っている。	
						知識・理解	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。	
李白「春夜宴桃李園序」		2	文章の構成や展開を理解するとともに、内容を的確に読み取る。  学習指導要領の指導事項 ア/エ	エ 古典を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果を発表したり文章にまとめたりすること。	関心・意欲・態度	文章にこめられた思想や主張を読み取ろうとする。	文章にこめられた思想や主張を読み取ろうとしている。	行動の観察	
					読む能力	文章の展開を理解するとともに、筆者の考え方を読み取る。	文章の展開を理解するとともに、筆者の考え方を読み取っている。		
					知識・理解	駢文の特徴を理解する。	駢文の特徴を理解している。		
周敦頤「愛蓮説」		2	文章の構成や展開を理解するとともに、内容を的確に読み取る。  学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	文章にこめられた思想や主張を読み取ろうとする。	文章にこめられた思想や主張を読み取ろうとしている。	行動の観察	
					読む能力	文章の展開を理解するとともに、筆者の考え方を読み取る。	文章の展開を理解するとともに、筆者の考え方を読み取っている。		
					知識・理解	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。		
柳宗元「送薛存義之序」		2	文章の構成や展開を理解するとともに、内容を的確に読み取り、執筆動機を考える。  学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	文章にこめられた心情や主張を読み取ろうとする。	文章にこめられた心情や主張を読み取ろうとしている。	行動の観察	
					読む能力	文章の展開を理解するとともに、作者の執筆動機を読み取る。	文章の展開を理解するとともに、作者の執筆動機を読み取っている。		
					知識・理解	基本的な句法・語法を理解する。唐宋八大家について理解する。	基本的な句法・語法を理解している。唐宋八大家について理解している。		
藤原道綱母「蜻蛉日記」	2	作者の生活や心情を読み取るとともに、当時の社会制度や平安女流日記文学の特徴を理解する。  学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	作者の生活や心情を読み取るとともに、平安女流日記文学の特徴を理解しようとする。	作者の生活や心情を読み取るとともに、平安女流日記文学の特徴を理解しようとしている。	行動の観察		
				読む能力	作者の立場を理解し、その心情を読み取る。	作者の立場を理解し、その心情を読み取っている。			
				知識・理解	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別する。	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。			
和泉式部「和泉式部日記」	1	贈答歌を通して男女の心情を読み取るとともに、表現上の特徴を理	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文	関心・意欲・	贈答歌を通して男女の心情を読み取るとともに、表現上の特徴を理解しようとする。	贈答歌を通して男女の心情を読み取るとともに、表現上の特徴を理解しようとしている。	行動の観察		

12		解する。 学習指導要領の指導事項ウ	章中の表現を根拠にして話し合うこと。	態度				
				読む能力	比喩表現に気をつけながら、作者の心情を理解する。	比喩表現に気をつけながら、作者の心情を理解している。	行動の分析 記述の確認	
				知識・理解	贈答歌の特徴を理解する。形のうえて紛らわしい語を文法的に識別する。	贈答歌の特徴を理解している。形のうえて紛らわしい語を文法的に識別できている。	記述の点検	
	紫式部「紫式部日記」	2	作者のものの感じ方や洞察力を読み取るとともに、その心情を理解する。 学習指導要領の指導事項ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	風景や人物に対する作者の感じ方や洞察力を理解しようとする。	風景や人物に対する作者の感じ方や洞察力を理解しようとしている。	行動の観察
					読む能力	作者のものの感じ方を通して、その心情を理解する。	作者のものの感じ方を通して、その心情を理解している。	行動の分析 記述の確認
					知識・理解	形のうえて紛らわしい語を文法的に識別する。	形のうえて紛らわしい語を文法的に識別できている。	記述の点検
	菅原孝標女「更級日記」	2	作者の生活や心情を読み取るとともに、平安女流日記文学の特徴を理解する。 学習指導要領の指導事項ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	作者の生活や考え方を読み取るとともに、平安女流日記文学の特徴を理解する。	作者の生活や考え方を読み取るとともに、平安女流日記文学の特徴を理解しようとしている。	行動の観察
					読む能力	作者の立場を理解し、その心情を読み取る。	作者の立場を理解し、その心情を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
					知識・理解	形のうえて紛らわしい語を文法的に識別する。	形のうえて紛らわしい語を文法的に識別できている。	記述の点検
	儒家・道家の思想	4	儒家・道家の思想を理解するとともに、人間の生き方やあり方についての考えを深める。 学習指導要領の指導事項ウ/エ/オ	エ 古典を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果を発表したり文章にまとめたりすること。	関心・意欲・態度	個々の相違点を意識しながら、儒家・道家の主張を理解しようとする。	個々の相違点を意識しながら、儒家・道家の主張を理解しようとしている。	行動の観察
					読む能力	簡潔な表現や巧みな比喩に注目しながら、内容を的確に読み取る。	簡潔な表現や巧みな比喩に注目しながら、内容を的確に読み取っている。	行動の分析 記述の確認
					知識・理解	基本的な句法・語法を理解する。儒家・道家の思想について理解する。	基本的な句法・語法を理解している。儒家・道家の思想について理解している。	記述の点検

【課題・提出物など】

- ① 夏休みの課題
- ② 授業で使ったプリントやワークシート
- ③ 授業で作成した資料や制作物など
- ④ 相互評価カード
- ⑤ 授業ノート

【第2学期の評定方法】

- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度などを総合して評価し、10段階に評定します。
- ② 学期全体の評定は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

第 3 学 期									
月	教材	配 当 時 間	学習のねらい	言語活動例	単元の目標		具体的な評価規準	評価方法	考 査 範 囲
1	「平家物語」	2	音読を通して語り物の特徴を知るとともに、生死に直面した人間の行動を通して、生き方についての考えを深める。  学習指導要領の指導事項 ウ/エ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	音読を通して文体を味わい、内容を踏まえて人間の生き方についての考えを深めようとする。	音読を通して文体を味わい、内容を踏まえて人間の生き方についての考えを深めようとしている。	行動の観察	第3学期 期末 考 査
					読む能力	登場人物の置かれた状況やその心情を読み取る。	登場人物の置かれた状況やその心情を読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
					知識・理解	基本的な敬語法について理解する。	基本的な敬語法について理解している。	記述の点検	
	「和歌十六首」	2	和歌の基本を学び、その表現の特徴や時代による変遷を理解する。  学習指導要領の指導事項 ア/オ	エ 古典を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果を発表したり文章にまとめたりすること。	関心・意欲・態度	和歌の響きを味わい、こめられた思いを読み取るとともに、時代による違いを理解しようとする。	和歌の響きを味わい、こめられた思いを読み取るとともに、時代による違いを理解しようとしている。	行動の観察	
					読む能力	それぞれの和歌に詠みこまれた心情を読み取る。	それぞれの和歌に詠みこまれた心情を読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
					知識・理解	和歌の修辞法や和歌史の流れを理解する。	和歌の修辞法や和歌史の流れを理解している。	記述の点検	
	「水無瀬三吟百韻」	1	独特の文芸である連歌の歴史や構成を理解して、その世界を鑑賞する。  学習指導要領の指導事項 エ	エ 古典を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果を発表したり文章にまとめたりすること。	関心・意欲・態度	独特の文芸である連歌に関心を持ち、その歴史や構成を理解しようとする。	独特の文芸である連歌に関心を持ち、その歴史や構成を理解しようとしている。	行動の観察	
					読む能力	複数の作者により作られる作品世界を読み取る。	複数の作者により作られる作品世界を読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
					知識・理解	連歌の特徴を理解する。	連歌の特徴を理解している。	記述の点検	
2	李復言「魚服記」	2	話の展開を整理し、登場人物の言動などを的確に読み取るとともに、日本の古典文学と読み比べる。  学習指導要領の指導事項 イ/オ	イ 同じ題材を取り上げた文章や同じ時代の文章などを読み比べ、共通点や相違点などについて説明すること。	関心・意欲・態度	話のおもしろさを味わい、登場人物のあり方などについて考えようとする。	話のおもしろさを味わい、登場人物のあり方などについて考えようとしている。	行動の観察	
					読む能力	登場人物の言動や心理などを的確に読み取る。	登場人物の言動や心理などを的確に読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
					知識・理解	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。	記述の点検	
	李景亮「人虎伝」	3	話の展開を整理し、登場人物の言動などを的確に読み取るとともに、日本の近代文学と読み比べる。  学習指導要領の指導事項 エ/オ	イ 同じ題材を取り上げた文章や同じ時代の文章などを読み比べ、共通点や相違点などについて説明すること。	関心・意欲・態度	話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとする。	話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとしている。	行動の観察	
					読む能力	登場人物の言動や心理などを的確に読み取る。	登場人物の言動や心理などを的確に読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
					知識・理解	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。	記述の点検	
	「近世俳諧」	1	俳句の基本を学び、その表現の特徴や季節感などを理解する。  学習指導要領の指導事項 エ	エ 古典を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果を発表したり文章にまとめたりすること。	関心・意欲・態度	俳句のリズムや季節感を読み味わう。	俳句のリズムや季節感を読み味わおうとしている。	行動の観察	
					読む能力	それぞれの俳句に詠みこまれた風景や心情を読み取る。	それぞれの俳句に詠みこまれた風景や心情を読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
					知識・理解	俳句の特色や基本事項について理解する。	俳句の特色や基本事項について理解している。	記述の点検	
3	松尾芭蕉「笈の小文」	1	芭蕉の俳諧に対する姿勢を読み取るとともに、俳文の特徴を理解する。  学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	句と文章が一体となった独特の表現を読み味わう。	句と文章が一体となった独特の表現を読み味わおうとしている。	行動の観察	
					読む能力	芭蕉にとって「狂句」や「風雅」とはどのようなものだったのかを理解する。	芭蕉にとって「狂句」や「風雅」とはどのようなものだったのかを理解している。	行動の分析 記述の確認	
					知識・理解	俳文の特徴を理解する。	俳文の特徴を理解している。	記述の点検	
	井原西鶴「西鶴諸国ばなし」	2	近世小説を読み、話の展開を理解するとともに、登場人物の生き方について考える。  学習指導要領の指導事項 イ/エ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	話の展開のおもしろさを味わい、登場人物の生き方や作者の立場について考えようとする。	話の展開のおもしろさを味わい、登場人物の生き方や作者の立場について考えようとしている。	行動の観察	
					読む能力	話の展開や登場人物の考え方を読み取る。	話の展開や登場人物の考え方を読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
					知識・理解	近世前期の文学史について理解する。	近世前期の文学史について理解している。	記述の点検	
	日本の漢詩文	2	作品にこめられた詩情を読み取るとともに、日本文化と中国文化の関係について考える。  学習指導要領の指導事項 エ/オ	エ 古典を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果を発表したり文章にまとめたりすること。	関心・意欲・態度	作品の理解を通して、日本文化と中国文化の関係について考えようとする。	作品の理解を通して、日本文化と中国文化の関係について考えようとしている。	行動の観察	
					書く能力	それぞれの作品が表現している内容や情感を理解する。	それぞれの作品が表現している内容や情感を理解している。	行動の分析 記述の確認	
					知識・理解	日本における漢詩文の歴史を理解する。	日本における漢詩文の歴史を理解している。	記述の点検	

【課題・提出物など】

- ① 冬休みの課題
- ② 授業で使用したプリントやワークシート
- ③ 授業で作成した資料や制作物など
- ④ 相互評価カード
- ⑤ 授業ノート

【第3学期の評定方法】

- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度などを総合して評価し、10段階に評定します。
- ② 学期全体の評価は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

【年間の学習状況の評定方法】

「関心・意欲・態度」「読む能力」「知識・理解」の観点で評価した、第1学期、第2学期、第3学期それぞれの成績を総合し、年間の学習成績として5段階で評定します。

確かな学力を身につけるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「古典」は「国語総合」での古文・漢文の基礎を発展させる科目です。授業でさまざまな古典の文章を読むことをとおして、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりするようにします。また、語句の意味・用法、文法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、古典独特の文体や修辞などの表現上の特色をとらえられるようにしましょう。</li> <li>・本文をノートに写し、わからない語句は辞典を使って調べておきます。口語訳まで自力でやることを予習とするよう習慣づけましょう。</li> <li>・学んだことを定着させるためには復習が肝要です。教科書・授業ノートを確かめながら学習内容を整理すること。特に文法や漢文の句法は繰り返し練習しましょう。</li> </ul>
授業を受けるにあたって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中に感じた疑問などは、その場で質問してください。</li> <li>・課題・提出物などは期限内に必ず提出してください。</li> <li>・相互評価に際しては、客観的、建設的な評価を行うよう努めてください。</li> </ul>

# 『高等学校古典B』（古B304/305）についてのシラバス案

科目 <b>古典B</b>	単位数	4単位
	学科・学年・学級	

## 1 学習の到達目標など

学習の到達目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広げ、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。
使用教科書・副教材など	『高等学校古典B』（三省堂）（第3学年では古文編第二部・漢文編第二部を扱います）

## 2 評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。

## 3 学習計画及び評価方法など

### (1) 学習計画など

第 1 学 期										
月	教材	配当時間	学習のねらい	言語活動例	単元の目標		具体的な評価規準	評価方法	考查範囲	
4	清少納言「枕草子」	7	筆者の美意識やものの見方を読み取るとともに、当時の宮廷生活について理解する。  学習指導要領の指導事項 ウ/エ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	内容を踏まえて筆者の考え方や当時の宮廷生活を理解しようとする。	内容を踏まえて筆者の考え方や当時の宮廷生活を理解しようとしている。	行動の観察	第1学期 中間 考查	
					読む能力	筆者の美意識や機知を読み取る。	筆者の美意識や機知を読み取っている。	行動の分析 記述の確認		
					知識・理解	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別する。	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。	記述の点検		
5	「三国志」の世界	4	話の内容を的確に読み取り、登場人物の心情を考えるとともに、その人間像を読み比べる。  学習指導要領の指導事項 エ/オ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	それぞれの場面に描かれた人間像を読み比べようとする。	それぞれの場面に描かれた人間像を読み比べようとしている。	行動の観察	第1学期 期末 考查	
					読む能力	登場人物の言動や心理などを的確に読み取る。	登場人物の言動や心理などを的確に読み取っている。	行動の分析 記述の確認		
					知識・理解	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。	記述の点検		
6 7	紫式部「源氏物語」	9	登場人物の心情を状況や行動に即して読み取るとともに、『源氏物語』への理解を深め、興味関心を高める。  学習指導要領の指導事項 ウ/エ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	物語の内容を理解するとともに、『源氏物語』への興味関心を高める。	物語の内容を理解するとともに、『源氏物語』をより深く知ろうとしている。	行動の観察	第1学期 期末 考查	
					読む能力	登場人物の心情を、それぞれの場面に応じて読み取る。	登場人物の心情を、それぞれの場面に応じて読み取っている。	行動の分析 記述の確認		
					知識・理解	基本的な敬語法について理解する。	基本的な敬語法について理解している。	記述の点検		

#### 【課題・提出物など】

- ① 授業で使用するプリントやワークシート
- ② 授業で作成した資料や制作物など
- ③ 相互評価カード
- ④ 授業ノート

#### 【第1学期の評定方法】

- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度などを総合して評価し、10段階に評定します。
- ② 学期全体の評定は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

第 2 学 期

月	教材	配 当 時 間	学習のねらい	言語活動例	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法	考 査 範 囲
9	漢詩（古体詩）	6	情景と作者の心情が融合した境地を味わうとともに、漢詩の構成などについて理解する。  学習指導要領の指導事項 エ/オ	エ 古典を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果を発表したり文章にまとめたりすること。	関心・意欲・態度	漢詩に描かれた人物や情景・心情などを表現に即して味わおうとする。	漢詩に描かれた人物や情景・心情などを表現に即して味わおうとしている。	第2学期 中間 考査
					読む能力	それぞれの漢詩が表現している内容や情感を理解する。	それぞれの漢詩が表現している内容や情感を理解している。	
					知識・理解	古体詩の詩形の多様性について理解する。	古体詩の詩形の多様性について理解している。	
	孟[ケイ]「人面桃花」	2	話の展開を的確に読み取るとともに、登場人物の心情を理解する。  学習指導要領の指導事項 イ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	当時の中国における死生観や恋愛観について考えようとする。	当時の中国における死生観や恋愛観について考えようとしている。	第2学期 期末 考査
					読む能力	登場人物の人間像と心理の動きを読み取る。	登場人物の人間像と心理の動きを読み取っている。	
					知識・理解	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。	
10	李復言「杜子春伝」	3	話の展開を整理し、登場人物の言動などを的確に読み取るとともに、日本の近代文学と読み比べる。  学習指導要領の指導事項 イ/オ	イ 同じ題材を取り上げた文章や同じ時代の文章などを読み比べ、共通点や相違点などについて説明すること。	関心・意欲・態度	話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとする。	話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとしている。	第2学期 期末 考査
					読む能力	登場人物の言動や心理などを的確に読み取り、杜子春の人間性を理解する。	登場人物の言動や心理などを的確に読み取り、杜子春の人間性を理解している。	
					知識・理解	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。	
	「大鏡」	8	歴史の流れの中で、登場人物の境遇や心情を読み取るとともに、歴史物語の特徴と文学史的意義を理解する。  学習指導要領の指導事項 ウ/オ	イ 同じ題材を取り上げた文章や同じ時代の文章などを読み比べ、共通点や相違点などについて説明すること。	関心・意欲・態度	登場人物の境遇を読み取るとともに、歴史物語の特徴を理解しようとする。	登場人物の境遇を読み取るとともに、歴史物語の特徴を理解しようとしている。	第2学期 期末 考査
					読む能力	登場人物の人間関係や心情を読み取る。	登場人物の人間関係や心情を読み取っている。	
					知識・理解	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別する。 基本的な敬語法について理解する。	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。 基本的な敬語法について理解している。	
11	司馬遷「史記」	7	話の展開を読み取るとともに、古代中国の歴史が持つおもしろさや登場人物の魅力を読み味わう。  学習指導要領の指導事項 ウ/エ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	著名な逸話について興味を持ち、内容を深く知ろうとする。	著名な逸話について興味を持ち、内容を深く知ろうとしている。	第2学期 期末 考査
					読む能力	話の展開を理解するとともに、登場人物の心情を読み取る。	話の展開を理解するとともに、登場人物の心情を読み取っている。	
					知識・理解	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。	
	紀貫之「古今和歌集仮名序」	1	歌論を読み、筆者の和歌に対する感じ方や考え方を理解する。  学習指導要領の指導事項 ウ/エ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	和歌に対する筆者の感じ方や考え方を理解しようとする。	和歌に対する筆者の感じ方や考え方を理解しようとしている。	第2学期 期末 考査
					読む能力	筆者が主張する和歌の本質と効用を的確に読み取る。	筆者が主張する和歌の本質と効用を的確に読み取っている。	
					知識・理解	和歌や歌論の文学史的事項を理解する。	和歌や歌論の文学史的事項を理解している。	
12	源俊賴「俊賴髓」	1	歌論に示された和歌の評価を理解するとともに、和歌を鑑賞する。  学習指導要領の指導事項 イ/エ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	歌論において和歌をどのような点から評価しているか、理解しようとする。	歌論において和歌をどのような点から評価しているか、理解しようとしている。	第2学期 期末 考査
					読む能力	それぞれの和歌に対する評価の内容を理解するとともに、和歌を鑑賞する。	それぞれの和歌に対する評価の内容を理解するとともに、和歌を鑑賞している。	
					知識・理解	主な歌論を整理するとともに、和歌の修辞法を広く理解する。	主な歌論を整理するとともに、和歌の修辞法を広く理解している。	
	思想と寓話	7	著名な逸話について興味を持ち、内容を深く知ろうとする。  学習指導要領の指導事項 ウ/エ/オ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	個々の相違点を意識しながら、それぞれの思想家の主張を理解しようとする。	個々の相違点を意識しながら、それぞれの思想家の主張を理解しようとしている。	第2学期 期末 考査
					読む能力	簡潔な表現や巧みな比喩に注目しながら、内容を的確に読み取る。	簡潔な表現や巧みな比喩に注目しながら、内容を的確に読み取っている。	
					知識・理解	基本的な句法・語法を理解する。 諸子の思想について理解する。	基本的な句法・語法を理解している。 諸子の思想について理解している。	

【課題・提出物など】

- ① 夏休みの課題
- ② 授業で使ったプリントやワークシート
- ③ 授業で作成した資料や制作物など
- ④ 相互評価カード
- ⑤ 授業ノート

【第2学期の評定方法】

- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度などを総合して評価し、10段階に評定します。
- ② 学期全体の評定は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

第 3 学 期

月	教材	配 当 時 間	学習のねらい	言語活動例	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法	考查 範囲	
1	「無名草子」	1	清少納言と紫式部がどのように評価されているか、的確に読み取る。  学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	清少納言と紫式部を評価する際の視点がどのようなところにあるか、理解しようとする。	清少納言と紫式部を評価する際の視点がどのようなところにあるか、理解しようとしている。	行動の観察	第3学期期末 考查
					読む能力	話者の評価内容を的確に読み取り、整理する。	話者の評価内容を的確に読み取り、整理している。	行動の分析 記述の確認	
					知識・理解	清少納言と紫式部の人物像や、『源氏物語』の成立事情について理解する。	清少納言と紫式部の人物像や、『源氏物語』の成立事情について理解している。	記述の点検	
	鴨長明「無名抄」	1	俊成や俊恵の「おもて歌」についての考え方を読み取るとともに、それぞれの和歌を鑑賞する。  学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	「おもて歌」についての考え方を理解しようとする。	「おもて歌」についての考え方を理解しようとしている。	行動の観察	
					読む能力	それぞれの和歌を鑑賞し、俊恵の主張を読み取る。	それぞれの和歌を鑑賞し、俊恵の主張を読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
					知識・理解	謙譲語「給ふ」の用法について理解する。	謙譲語「給ふ」の用法について理解している。	記述の点検	
	藤原定家「毎月抄」	1	歌論を読み、和歌の「心」と「詞」についての筆者の主張を理解する。  学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	和歌の「心」と「詞」についての筆者の主張を理解しようとする。	和歌の「心」と「詞」についての筆者の主張を理解しようとしている。	行動の観察	
					読む能力	「古の歌」と「近代の歌」についての筆者の考えを読み取る。	「古の歌」と「近代の歌」についての筆者の考えを読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
					知識・理解	歌論に頻出する用語の意味を理解する。	歌論に頻出する用語の意味を理解している。	記述の点検	
	正徹「正徹物語」	1	歌論に述べられている和歌の評価を理解することで、和歌の鑑賞法を学ぶ。  学習指導要領の指導事項 ア/ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	筆者の評を参考にしながら、和歌を鑑賞しようとする。	筆者の評を参考にしながら、和歌を鑑賞しようとしている。	行動の観察	
					読む能力	語順や助詞の違いなどによって、詩歌の世界がどのように変化するか、理解する。	語順や助詞の違いなどによって、詩歌の世界がどのように変化するか、理解している。	行動の分析 記述の確認	
					知識・理解	中世歌論の文学史的事項を理解する。	中世歌論の文学史的事項を理解している。	記述の点検	
世阿弥「風姿花伝」	1	能楽論に示された筆者の主張を読み取り、その特色を理解するとともに、芸道に対する考え方を深め、視野を広げる。  学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し、自身の考え方を深めようとする。	内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し、自身の考え方を深めようとしている。	行動の観察		
				読む能力	「花」の意味するところを理解し、筆者の芸道観を読み取る。	「花」の意味するところを理解し、筆者の芸道観を読み取っている。	行動の分析 記述の確認		
				知識・理解	古典芸能の流れ、能楽について理解する。	古典芸能の流れ、能楽について理解している。	記述の点検		
向井去来「去来抄」	1	俳論を読み、筆者の主張を読み取るとともに、焦門俳諧の特色を理解する。  学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	筆者の主張を通して、焦門俳諧の特色を味わおうとする。	筆者の主張を通して、焦門俳諧の特色を味わおうとしている。	行動の観察		
				読む能力	句に対する筆者の批評を読み取る。	句に対する筆者の批評を読み取っている。	行動の分析 記述の確認		
				知識・理解	俳諧の流れ、焦門について理解する。	俳諧の流れ、焦門について理解している。	記述の点検		
2	「難波土産」	1	近松門左衛門が考える舞台芸能のあり方について理解するとともに、演劇に対する考え方を深め、視野を広げる。  学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し、自身の考え方を深めようとする。	内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し、自身の考え方を深めようとしている。	行動の観察	
					読む能力	「実」と「虚」の関係を理解し、近松の主張を読み取る。	「実」と「虚」の関係を理解し、近松の主張を読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
					知識・理解	古典芸能の流れ、浄瑠璃や歌舞伎について理解する。	古典芸能の流れ、浄瑠璃や歌舞伎について理解している。	記述の点検	
	本居宣長「玉勝間」	1	筆者の学問についての主張を理解するとともに、自身の学びについての考え方を深める。  学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	筆者の主張を通して、自身の学びについて考えを深めようとする。	筆者の主張を通して、自身の学びについて考えを深めようとしている。	行動の観察	
					読む能力	叙述内容を整理して、筆者の学問についての考えを読み取る。	叙述内容を整理して、筆者の学問についての考えを読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
					知識・理解	国学の流れについて理解する。	国学の流れについて理解している。	記述の点検	
	本居宣長「源氏物語玉の小櫛」	1	物語論を読み、筆者の論旨を理解するとともに、物語を読む意義などについて考える。  学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	筆者の主張を通して、物語を読む意義などについて考えようとする。	筆者の主張を通して、物語を読む意義などについて考えようとしている。	行動の観察	
					読む能力	叙述内容を整理して、筆者の述べる「物語」を読む意義を読み取る。	叙述内容を整理して、筆者の述べる「物語」を読む意義を読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
					知識・理解	「もののあはれ」について考えを深めるとともに、国学の流れを理解する。	「もののあはれ」について考えを深めるとともに、国学の流れを理解している。	記述の点検	
	柳宗元「捕蛇者説」	2	筆者の論旨を的確に理解し、自己のものの見方や考え方を豊かにする。  学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	筆者がこの文章を書いた意図を理解しようとする。	筆者がこの文章を書いた意図を理解しようとしている。	行動の観察	
					読む能力	筆者が考える幸福と政治の本質を読み取る。	筆者が考える幸福と政治の本質を読み取っている。	行動の分析 記述の確認	
					知識・理解	唐宋八大家について理解する。	唐宋八大家について理解している。	記述の点検	
蘇軾「赤壁賦」	2	情景や叙情の描写の美しさを味わうとともに、作者の人生観を理解する。  学習指導要領の指導事項 ウ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	この文章に見られる作者の人生観を理解しようとする。	この文章に見られる作者の人生観を理解しようとしている。	行動の観察		
				読む能力	情景や叙情の描写の美しさを読み味わう。	情景や叙情の描写の美しさを読み味わっている。	行動の分析 記述の確認		
				知識・理解	基本的な句法・語法を理解する。	基本的な句法・語法を理解している。	記述の点検		
韓愈「師説」	2	論の展開を整理し、筆者の論旨を的確に理解するとともに、自己のものの見方や考え方を豊かにする。  学習指導要領の指導事項 ウ/エ	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	関心・意欲・態度	筆者がこの文章を書いた意図を理解しようとする。	筆者がこの文章を書いた意図を理解しようとしている。	行動の観察		
				書く能力	「師」について筆者がどのように考えているかを読み取る。	「師」について筆者がどのように考えているかを読み取っている。	行動の分析 記述の確認		
				知識・理解	基本的な句法・語法を理解する。 唐宋八大家について理解する。	基本的な句法・語法を理解している。 唐宋八大家について理解している。	記述の点検		



【課題・提出物など】

- ① 冬休みの課題
- ② 授業で使用了したプリントやワークシート
- ③ 授業で作成した資料や制作物など
- ④ 相互評価カード
- ⑤ 授業ノート

【第3学期の評定方法】

- ① 課題テスト、提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度などを総合して評価し、10段階に評定します。
- ② 学期全体の評価は、提出物の評価10%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度20%です。

【年間の学習状況の評定方法】

「関心・意欲・態度」「読む能力」「知識・理解」の観点で評価した、第1学期、第2学期、第3学期それぞれの成績を総合し、年間の学習成績として5段階で評定します。

確かな学力を身につけるためのアドバイス	・「古典」は「国語総合」での古文・漢文の基礎を發展させる科目です。授業でさまざまな古典の文章を読むことをとおして、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり發展させたりするようにします。また、語句の意味・用法、文法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、古典独特の文体や修辭などの表現上の特色をとらえられるようにしましょう。 ・本文をノートに写し、わからない語句は辞典を使って調べておきます。口語訳まで自力でやることを予習とするよう習慣づけましょう。 ・学んだことを定着させるためには復習が肝要です。教科書・授業ノートを確かめながら学習内容を整理すること。特に文法や漢文の句法は繰り返し練習しましょう。
授業を受けるにあたって守ってほしい事項	・授業中に感じた疑問などは、その場で質問してください。 ・課題・提出物などは期限内に必ず提出してください。 ・相互評価に際しては、客観的、建設的な評価を行うよう努めてください。